



# 忘れない、私たちの心を届けよう

## ＝東日本大震災被災者支援金とりくみのお願い＝

東日本大震災から3年7か月という月日が経ちました。しかし一人一人の生活再建は遅々として進まない現状です。私たち神戸がそうであったように、家や仕事を失った人達、特に高齢者にとって、3年7か月という日々は想像以上に重く、再建の道から取り残されていくのではという不安の中に暮らしがあります。支援のボランティア活動も被災当初と比べれば少なくなり、孤独感と向き合っている方が増えているとも伝えられています。これまでろっこう医療生協の取り組みに支援する形で参加してきましたが、7月の作品展と同時開催した東日本大震災被災者支援バザーで多くのご協力を得、またコミュニティハウス入居者の皆さんから、作品展の取り組みへの感謝の気持ちを支援にしたいとお申し出がありご寄付をいただきました。私たち理事会は、管理員の皆さんの意向にも後押ししていただき、目標30万円の支援金を集めようと決定しました。そして、できれば医療生協が震災直後から支援活動を展開している岩手県大船渡市で、被災の高齢者が孤独な引きこもり状態にならないよう「たまり場づくりと支える人づくり」に役立てていただけるよう使途を検討したいと考えています。

私たち花たばの活動もNPO発足から10年の節目の年。多くの皆さんに支えられて、地域に根を張れる心強さを実感しています。大震災によって根こそぎ失われたものは、形のある物だけでなく、人と人をつなぐものでもあったでしょう。まだまだ長期にわたるであろう被災生活をせめて心強く耐えていけるよう、長くかかわっていききたいと思うのです。ろっこう医療生協、大船渡市の関係団体等と連携しながら、来年3月には被災地に代表を派遣したいと考えています。

**\*通信に同封している振込用紙を利用していただき、お一人でも多くの会員の皆様のご協力（1口1,000円から）をお願いいたします。**

いつでも一人になれる  
いつでも誰かに会える  
いつでも誰かにまかせられる  
そんな住まいです

## コミュニティハウス花たば

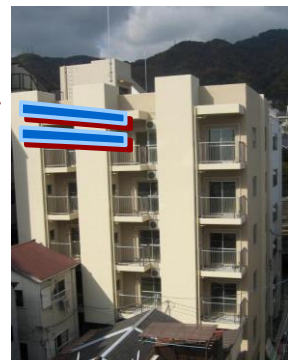
# ＝住宅見学会＝

■期間 11月1日(土)～3日(月・祝)

■時間 午前10時～午後4時まで

■場所 コミュニティハウス花たば (〒657-0831 神戸市灘区水道筋 6-7-14)

\*見学ご希望・お問い合わせは、NPO 法人花たば事務所 ☎078-801-6632 へ



# 花たばネット・ゴミだしサポート特集

花たばの活動は、コミュニティハウスの運営と地域の支え合いネット活動が両輪です。特に、NPO 発足以来、地道に重ねてきた地域の支え合い活動は、花たば会員間の有償ボランティア組織「花たばネット」と神戸市・兵庫県の地域づくり活動支援事業委託としてスタートした「ゴミだしサポート」は、社協、地域の民生委員、地域包括支援センター等のケアマネージャーさん達からも信頼され支援要請が増えています。今年度総会では、さらなる要請に応じていけるようコーディネーターを常勤職員として一名予算化も決定していただきました。理事会で承認し、花たばネットワークコーディネーターとして田中雅子さんを配置することができました。ゴミ出しサポートのスタート時点からコーディネーターとして活動する宗近和義さんと共に活動の充実に向けて前進です！

## 困っているこんなことを

- ・掃除・洗濯・炊事などの家事
- ・エアコン・換気扇の清掃
- ・通院・外出などの介助
- ・役所・銀行などへの付き添い
- ・買物
- ・話し相手
- ・書類・手続きなどの相談・助言
- ・ベランダ・庭などの片付け（軽作業）
- ・ちょっとした大工仕事
- ・パソコン指導や設定

## 有償ボランティアが 引き受けます！

利用料：30分あたり 400円

（内 300円が支援員への謝金になります）

交通費：実費

諸費用：実費をいただく場合があります。  
※利用料は、チケットで清算します。内容の相談と合わせ、あらかじめ購入してください。



## 花たばネット コーディネーターの 田中です！

私は灘区で生まれ育ちました。両親は今も元気で生活しています。父は 89 歳になりました。毎日生活を楽しんでいるようです。テレビを見たり、ナンバーズに数字を入れたり、一日一回買い物をして、時々遠出をすることに生きがいを感じているようです。母は 10 年程前より認知症になり、今は施設に入っています。孫の世話を生きがいと感じているような母でした。父母が現在元気に齢を取り生活できていること、私の 3 人の子ども達が素直に成長できたのは周りの地域の人達の見守りがあったからだと思っています。

私にも何か出来ることはないかと考えていました。昨年よりボランティアに参加することができるようになり、毎日楽しく過ごしています。これからも色々な事に挑戦していきたいと思っています。（田中雅子）

**編集部より**田中さんは、今年の定年退職と同時に地域の民生委員も担っている、“若手”職員です！地域の支え合いを一緒に広げいきましょう。



## 私も活動しています！

### 九野さん

花たばのボランティア活動をして、初めて行く先は、ドキドキして、どんな方なのか不安ですが、お会いしておしゃべりしているうちに溶け込んでいきます。

掃除をしたり、付添に行ったりして利用者の方に喜んでもらえてホッとします。私でも役に立っていることに安心です。

**編集部より**九野さんは、毎日の食事運びや、掃除、話し相手など、依頼に応じた様々な活動を引き受けてくれる、頼りになるボランティアさんです！

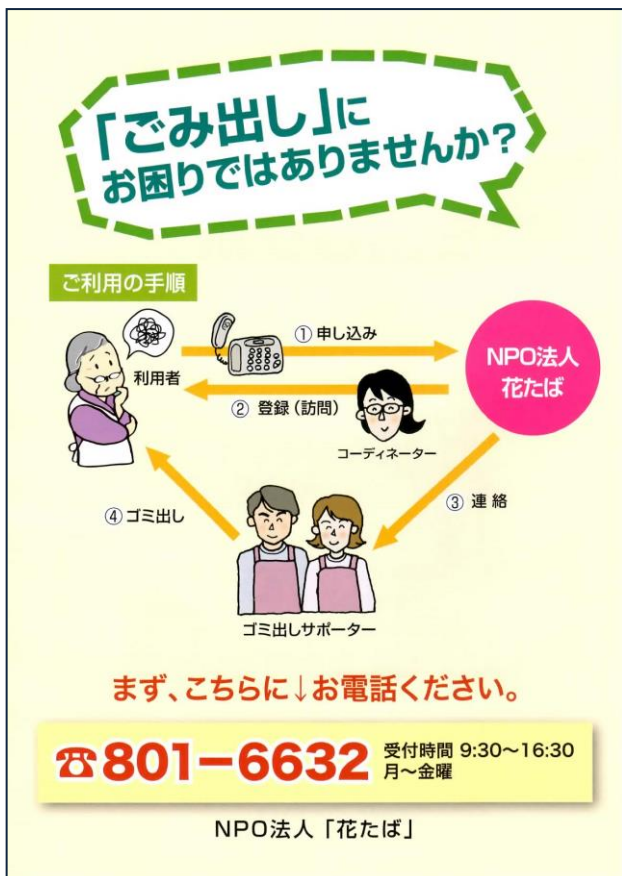
# たかが「ゴミ出し」、されど「ゴミ出し」

ゴミ出しサポート  
コーディネーター 宗近 和義



「ゴミ出しサポート」コーディネーターを担当して3年半が経過しました。自宅のゴミをゴミステーションまで持って行けなくて困っている方（介護度等の制約から、ひまわり収集を利用できない方）をサポートする「ゴミ出しサポート」制度が神戸市からの委託を受けて始まったのは2011年4月からです。福祉系のNPO団体のまとめ役である「ひょうごん福祉ネット」が神戸市の助成を受けて高齢者地域支援事業の一つとして始まりました。助成は半年（神戸市が3ヶ月、後兵庫県が3ヶ月）で終了しましたが、その時点でこの制度の運営を止めてしまった団体が多い中、NPO花たばと数団体が利用者さんに費用を少し負担していただき、続けています。

私は「ひょうごん福祉ネット」から指導を受け、当初からNPO花たばに於けるこの制度のコーディネーターを担当させてもらっています。私のいくつかのボランティア活動の中の一つですが、一番大きな仕事になりました。



この制度の利用を希望される方はどんどん増えてきていますが、サポーターさんを見つけるのは、だんだん難しくなっています。そのため、複数の担当をしてもらっているサポーターさんが多くなっています。また、利用希望に応えられない場合もあります。サポーターさん探し以外にも大きな問題があります。それは、利用開始後のフォローに手間がかかりすぎることです。現在コーディネーター2人体制で対応していますが、手一杯になってきており、利用が増え続ける今後が心配です。（これまでも事務処理など改善はしてきましたが…）利用者さんの人数を制限する事態が起らないように、今後どう対応するべきか検討したいと思っています。

こんな状況の中、利用者さんからの“助かってますよ”など感謝の言葉があると、気持ちが和みコーディネーターをやっている上での励みになっています。また、サポーターさんとお会いしたり電話したりする度、この制度は“サポーターさんの協力なくしては成り立たない”を再認識すると共に、ボランティア仲間として“自分も頑張ろう”の気持ちになります。（宗近和義）

編集部より「ゴミだしサポートだけでなく、ネットでもボランティアする宗近さん。活動統計をもとに、先への視点の提案もしてくれます。身近でできるボランティアにあなたも参加してみませんか？」

# NPO 法人花たば 10 周年記念講演会

テーマ

生き生きと人間らしく

心豊かに第三の人生を楽しむために

講師 小島ブンゴード孝子さん  
日時 10月26日(日)午後1時から  
場所 なた組合員集会室(花たば1階)



前号でもご案内した記念講演会です。NPO 花たばを立ち上げて 10 年。皆さんの応援をいただきながら、自分らしく生きるために「自立を支え、支えられる」少しの心配りを住宅や地域のつながりの中につくろうと歩んできました。皆さんと培った 10 年をこれからの住みよいまちづくりに活かすためにも、私たちの住む社会はどうあってほしいか、何ができるのか考える機会になればと思います。ご来場をお待ちしています。

気が早いようですが、

## クリスマス会

お知らせです。

12月21日(日)

午後2時～バザー

午後4時～パーティー

会費 1,000 円

みんなで歌やゲームを楽しみましょう！



### 理事会から

■今年度の会費未納の方につきまして、納付書を同封しております。行き違いですでお支払いいただいている場合は、ご容赦ください。よろしく申し上げます。

編集後記 ようやく秋らしい日々になりました。お元気ですか？

- 9月に厚生労働省が発表した統計によると日本では100歳以上の人が58,820人(昨年より4,000人以上増)いらっしゃるそうです。厳しい時代を生き抜いてこられた方々は、社会の宝物です。私たちがまた先輩方の後を支え合って生きていきたいものです。そのためにも、支え合う土台としての社会整備にも思いを馳せ、素敵な老老(同世代同士の)介護(支え合い)を目指したいものですね。
- 東日本大震災被災者支援カンパにも、どうかご協力お願い致します。